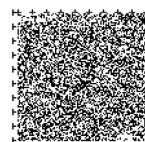

第1章

幸手市の現況とまちづくりの課題

- 1－1 幸手市の現況
 - 1－2 市民の意向
 - 1－3 まちづくりの課題
-



第1章 幸手市の現況とまちづくりの課題

1-1 幸手市の現況

1 都市の沿革、位置

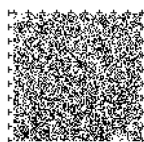
(1) 都市の沿革

【都市基盤の整備に伴う都市化の進展】

- ①本市は、古くから水が豊富で農業の盛んな地域であり、河川・陸上交通の要衝として、また、交易・商業・文化の中心地として発展してきました。江戸時代には、江戸川・権現堂川・葛西用水路等の河川改修により多くの新田が造成され、農業が盛んに行われる一方、河川を利用した船便が江戸と連絡していたため、権現堂や西関宿には回船問屋が軒を並べ活況を呈していました。現在の市街地はこの頃、日光道中と日光御成道が合流する宿場町として栄え、近隣の商業・文化の中心地となっていました。
- ②明治時代には、東北本線の開通等により船運は衰退しましたが、その後東武日光線及び国道4号の開通等により都市化が進展し、昭和47年（1972年）の幸手団地、昭和59年（1984年）の幸手工業団地を皮切りに、住宅団地・工業団地や幹線道路の整備が進められてきました。
- ③近年では、平成27年（2015年）に首都圏中央連絡自動車道（圏央道）幸手ICが供用開始となり、平成28年（2016年）には幸手中央地区産業団地の造成工事が完了しました。
- ④現在、幸手駅西口地区において、土地区画整理事業を推進しており、平成31年（2019年）には、幸手駅の橋上駅舎・東西自由通路が完成し、西口の開設に伴い、駅前広場や西口停車場線の一部が整備され、令和2年（2020年）には杉戸幸手栗橋線の一部が整備されています。

表 幸手市の略年表

年	出来事
明治22年	町制施行（旧幸手町）
昭和4年	東武鉄道日光線の開通、幸手駅の開設
29年	幸手町・行幸村・上高野村・吉田村・権現堂川村が合併
30年	桜田村（大字中川崎、下川崎）・八代村・豊岡村（大字西関宿、中島、花島、槇野地）が編入
31年	八代村大字戸島の一部が杉戸町へ分離
33年	国道4号開通
47年	幸手団地完成
59年	国道4号バイパス開通、幸手工業団地完成
61年	市制施行（幸手市）
平成元年	幸手西住宅団地（香日向地区）完成
4年	幸手ひばりヶ丘工業団地完成
17年	都市計画道路幸手鷺宮加須線開通
19年	県営権現堂公園一部開園
20年	幸手駅東口駅前広場完成
22年	都市計画道路幸手停車場線開通
27年	首都圏中央連絡自動車道（圏央道）幸手IC供用開始
28年	幸手中央地区産業団地の造成工事完了
31年	幸手駅橋上駅舎・東西自由通路・幸手駅西口駅前広場完成
令和3年	都市計画道路幸手五霞線全線開通

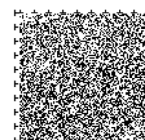
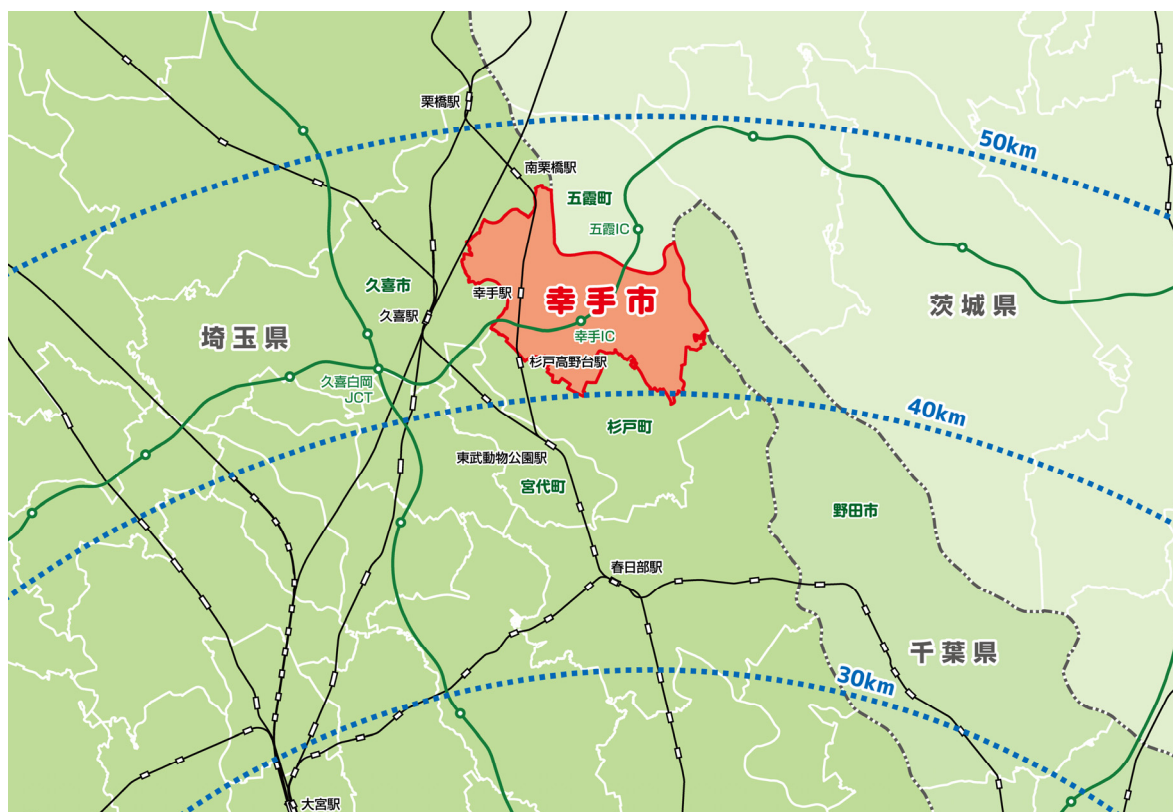


（２）広域的 position 特性・近隣市町との関係

【交通利便性が高い位置特性】

- ①本市は、埼玉県北東部、東京都心から40km～50km圏内に位置し、北千住駅から約40分の場所に位置していることや、平成27年（2015年）に首都圏中央連絡自動車道（圏央道）幸手ICが設置されたこと等により、交通利便性が高い位置特性を有しています。
- ②東には江戸川が流れ、これを挟んで千葉県野田市に接しており、北は中川及び権現堂川を境にして久喜市、茨城県五霞町に接する県境のまちです。
- ③西は久喜市、南は杉戸町と地続きで接し、市域は東西8.8km、南北が7.6kmで、面積は33.93km²となっています。

図 幸手市の位置



2 人口特性

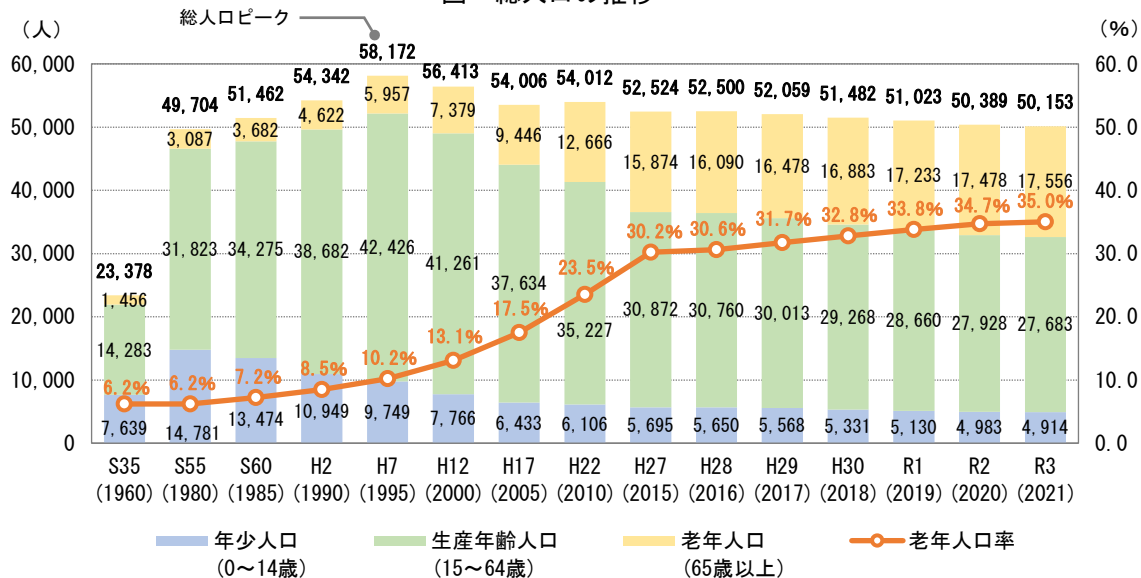
(1) 総人口・世帯

【既に人口が減少し将来的には高齢者人口も減少する見込み】

- ①本市の総人口は、国道4号の開通や東京通勤圏内として宅地開発が行われたこと等を背景に、昭和35年（1960年）以降は増加傾向にありましたが、平成7年（1995年）の58,172人をピークに減少傾向となっています。
- ②令和3年（2021年）の0～14歳の年少人口の割合は9.8%と埼玉県の平均値（12.0%）を下回り、65歳以上の老年人口の割合は35.0%となっており、埼玉県の平均値（26.5%）を上回っています。
- ③第6次幸手市総合振興計画の人口推計によると、今後も減少傾向が続く見込みです。その間、老年人口は、令和3年（2021年）まで一貫して増加していますが、令和8年（2026年）からは減少傾向に転じ、この頃から、人口減少が進行する3つのプロセスの第2段階・第3段階に入ることが見込まれます。
- ④本市の人口動態について、自然動態は過去10年以上死亡数が出生数を常に上回っており、社会動態については、平成22年（2010年）以降は常に転出数が転入数を上回っています。
- ⑤本市の世帯数は、核家族化の進行や単独世帯の増加等により、一貫して増加傾向にありますが、それらに反して1世帯平均人員は減少傾向にあります。

※人口減少が進行する3つのプロセス・・・第1段階：老年人口増加＋生産年齢人口・年少人口減少
 第2段階：老年人口維持・微減＋生産年齢人口・年少人口減少
 第3段階：老年人口・生産年齢人口・年少人口減少

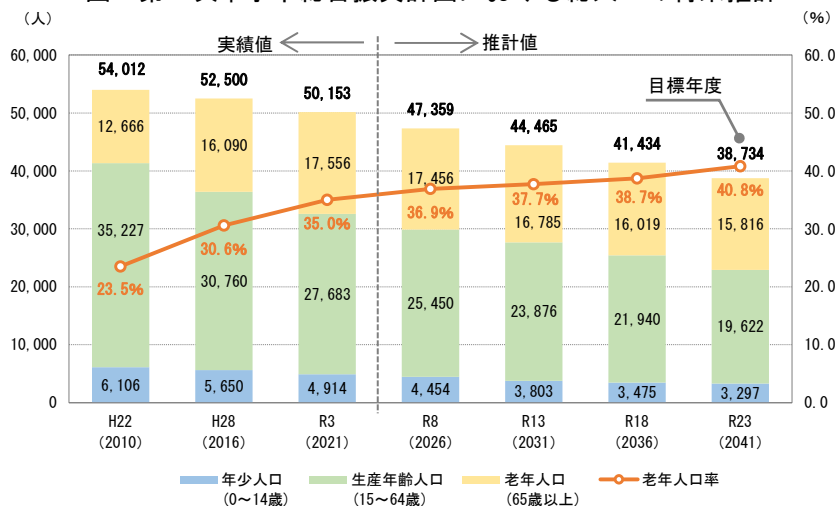
図 総人口の推移



※実績値の総人口には年齢不詳を含む

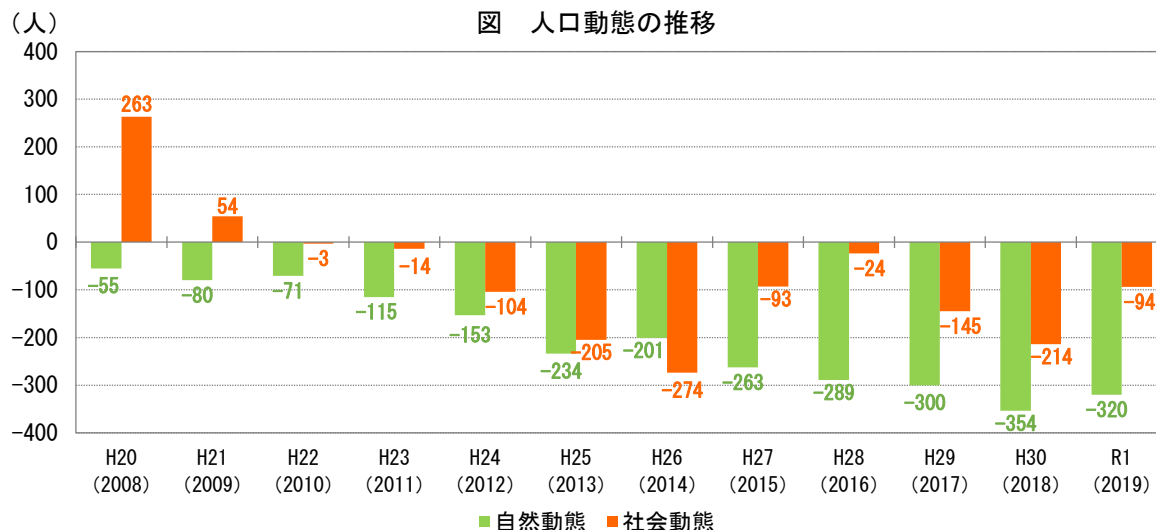
出典：国勢調査（S35～H27）、住民基本台帳（H28～R3）

図 第6次幸手市総合振興計画における総人口の将来推計



出典：国勢調査（H22）、住民基本台帳（H28～R3）、第6次幸手市総合振興計画における人口推計

図 人口動態の推移

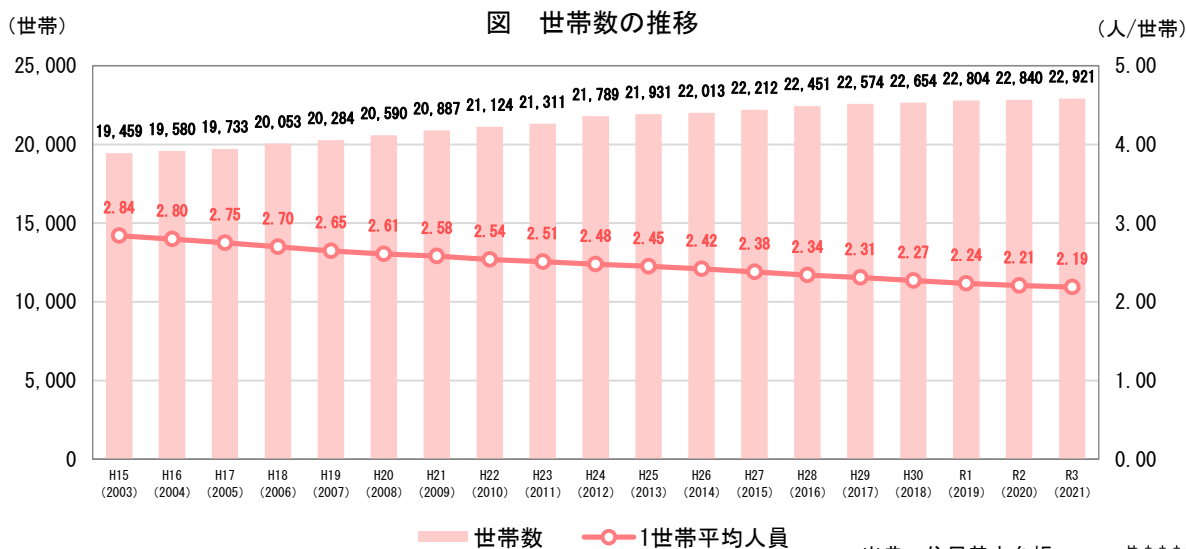


※自然動態：出生・死亡に伴う人口の動き（マイナスの値が大きいほど死亡数が多い傾向）

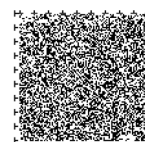
※社会動態：転入・転出に伴う人口の動き（マイナスの値が大きいほど転出数が多い傾向）

出典：統計さって

図 世帯数の推移



出典：住民基本台帳

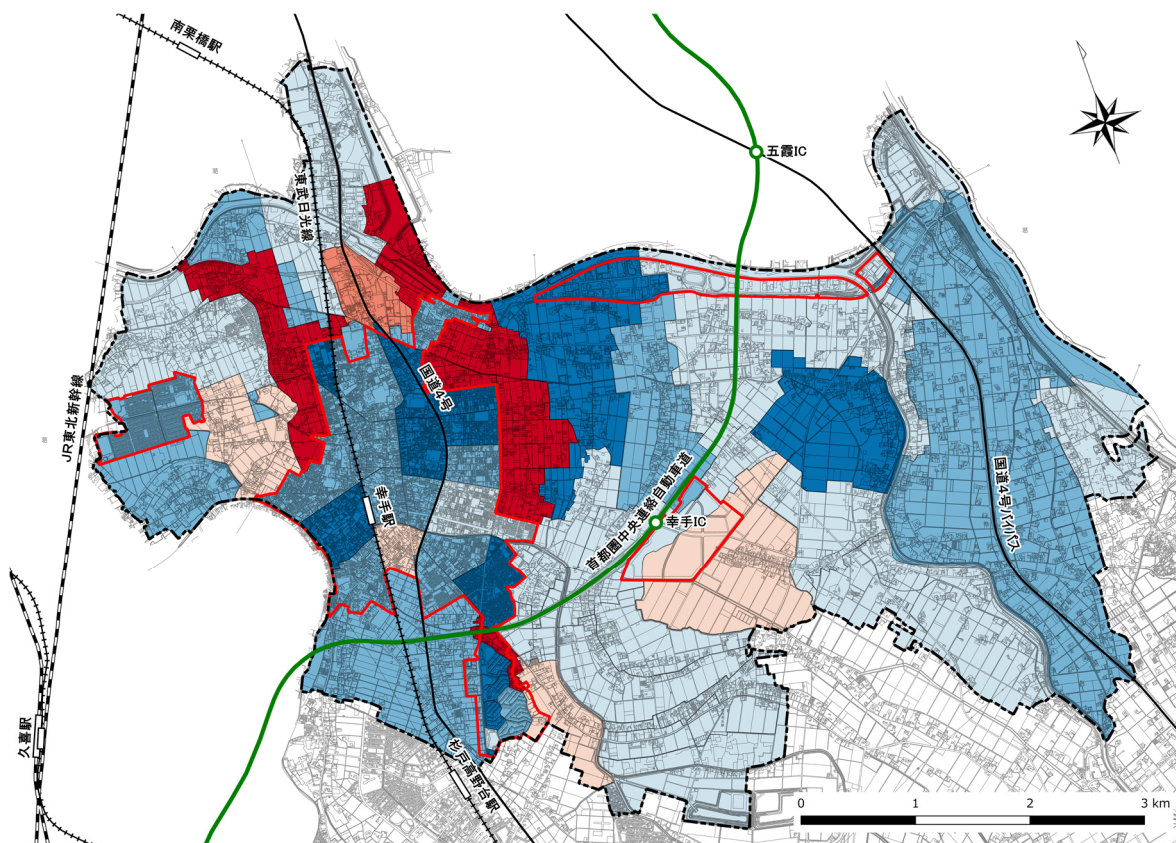


(2) 人口増減率

【幸手駅西口や住宅団地が立地する地区においても高い減少率】

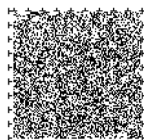
- ①令和3年（2021年）の実績値と、本計画の目標年度である令和23年（2041年）の推計値における人口増減率を地区別に確認すると、市街化調整区域の農村部を中心に減少率が高くなっており、幸手駅西口周辺や、住宅団地が立地する地区においても減少率が高くなっています。
- ②大字幸手や大字円藤内、大字権現堂等、増加率が高い地区も見られます。

図 人口増減率 R3（2021）年～R23（2041）年



凡 例	
	-50%以上
	-25%以上 ～ -50%未満
	0%以上 ～ -25%未満
	0%以上 ～ 25%未満
	25%以上 ～ 50%未満
	50%以上
	都市計画区域
	市街化区域

出典：住民基本台帳（R3年）、第6次幸手市総合振興計画における人口推計



(3) 人口密度

【将来的には中心市街地においても人口密度が低下する見込み】

- ①令和3年（2021年）時点における人口密度は、市街化区域内を中心に大半が40人／ha（都市計画運用指針における既成市街地の人口密度の基準）以上となっています。特に、幸手団地等では100人／ha以上の状況であり、高い人口集積が見られます。
- ②令和23年（2041年）の推計においては、全市的に人口密度が低下する見込みであり、幸手駅周辺の中心市街地等においても、40人／haを下回る地区が存在します。

図 人口密度 R3（2021）年

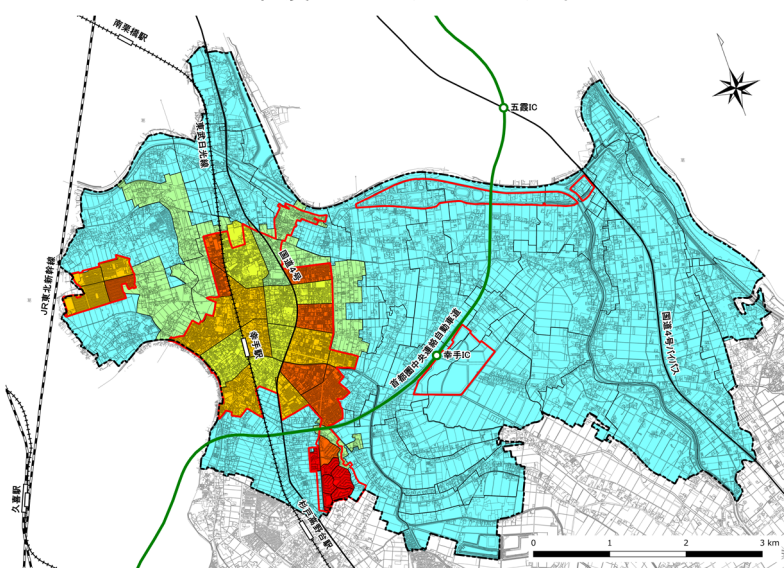
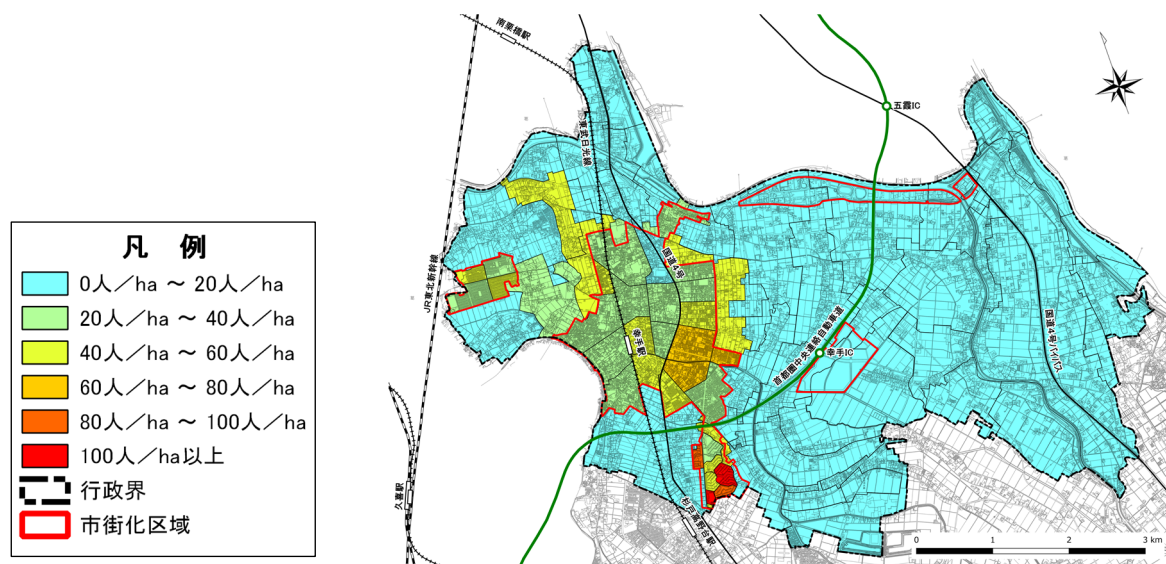


図 人口密度 R23（2041）年



（参考）都市計画運用指針（国土交通省）

市街化区域の規模の設定 住宅用地の規模より

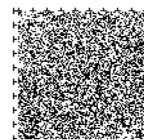
40人／ha：既成市街地の人口密度の基準

60人／ha：土地利用密度の低い地域

80人／ha：土地の高度利用を図るべきその他の区域

100人／ha：土地の高度利用を図るべき区域

出典：住民基本台帳（R3年）、第6次幸手市総合振興計画における人口推計



(4) 高齢化率：65歳以上人口割合

【全市的に高齢化の進行に拍車がかかる見込み】

- ①令和3年（2021年）時点の高齢化率は、全市的には35%であるなか、築年数が経過した住宅団地が立地する地区等で高齢化率が40%を超える状況となっています。
- ②令和23年（2041年）の見込みでは、老年人口の減少に伴い、高齢化率が低下する地区も見られますが、市街化区域内の大半が40%を超える見込みとなっています。

図 高齢化率 R3（2021）年

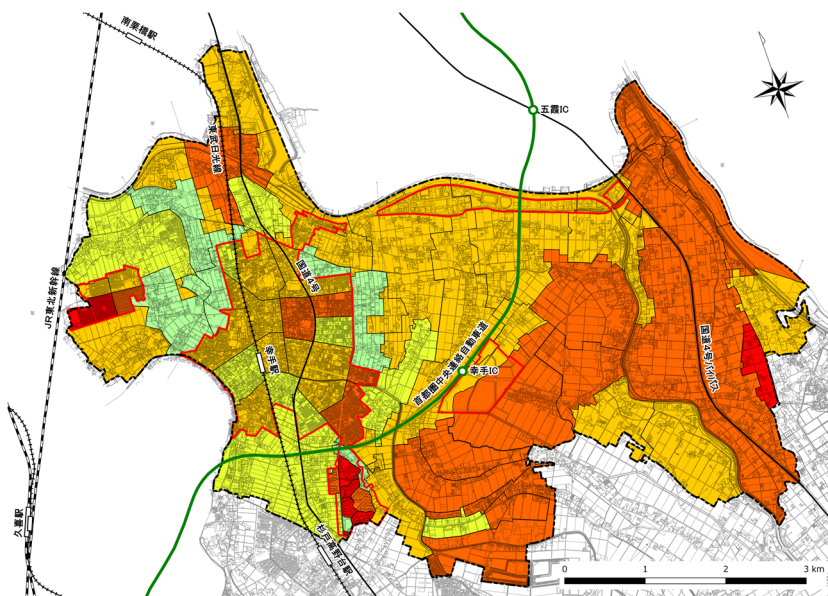
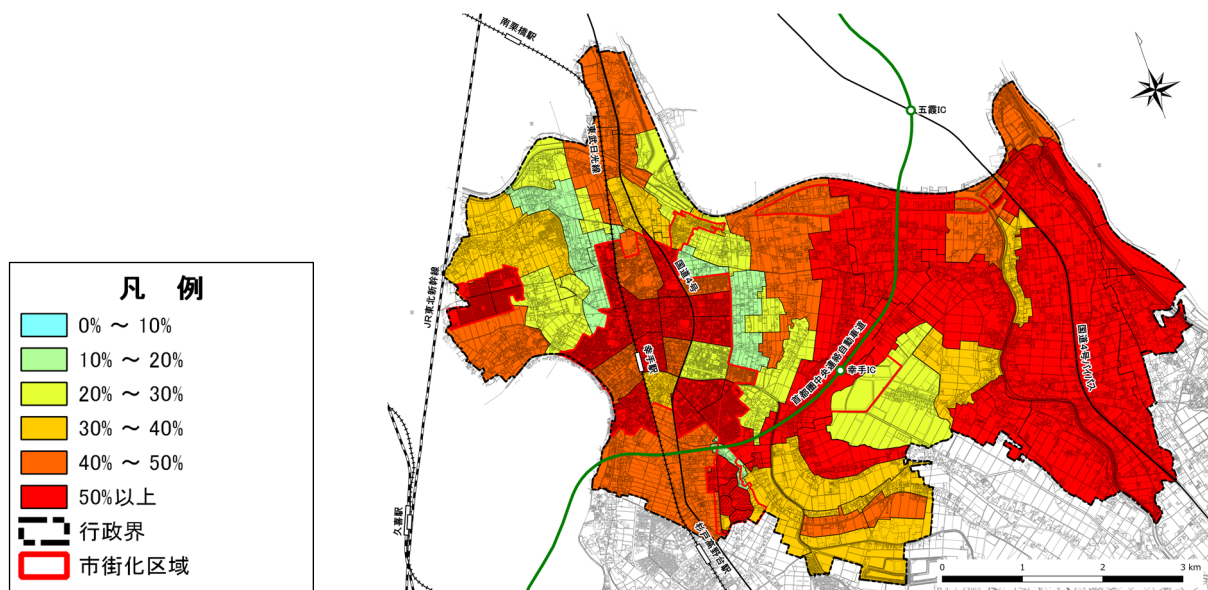


図 高齢化率 R23（2041）年



出典：住民基本台帳（R3年）、第6次幸手市総合振興計画における人口推計

(5) 人口集中地区

【東武日光線沿線や国道4号周辺に主に広がる人口集中地区（D I D）】

- ①本市の人口集中地区（D I D）について、昭和35年（1960年）時点においては、都市計画道路中央通り線沿いの市街地にとどまっていたましたが、国道4号の開通や、高度経済成長期の人口増加に伴う宅地開発等も相まって、それらを含む周辺の市街地において成熟した住宅地形成がなされてきました。
- ②本市の人口ピークである平成7年（1995年）以降は、人口集中地区内の人口密度は減少傾向にありますが、人口集中地区（D I D）の面積はおおむね横ばいで推移しています。

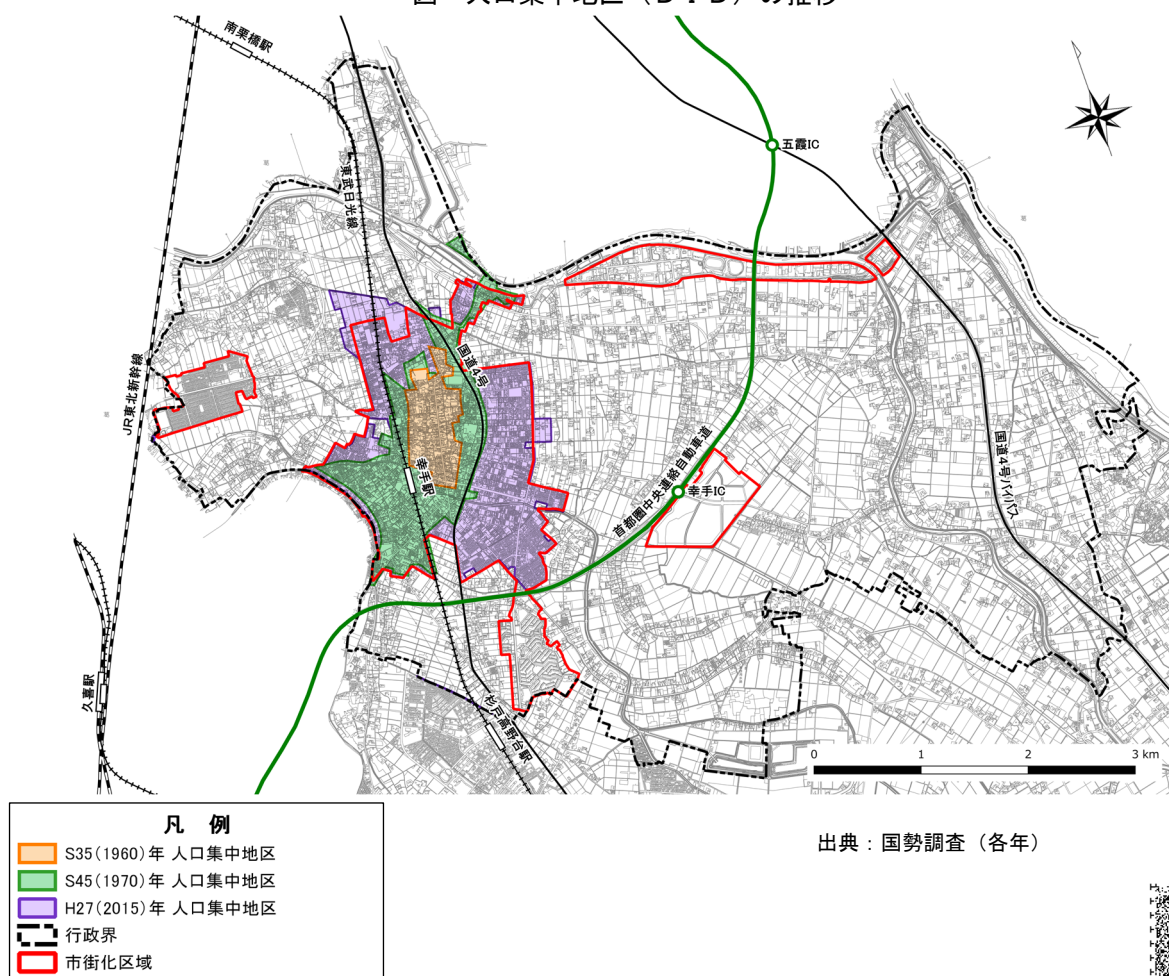
※人口集中地区（D I D）：国勢調査の集計の統計地域で、人口密度が4,000人/km²かつ合計人口が5,000人以上となる地域

表 人口集中地区（D I D）の面積・人口密度の推移

年	D I D人口（人）	D I D面積（km ² ）	人口密度（人/km ² ）
S35（1960）	6,019	0.50	12,038
S45（1970）	12,263	1.90	6,454
H7（1995）	37,914	4.10	9,293
H12（2000）	35,996	4.07	8,844
H17（2005）	34,341	4.08	8,417
H22（2010）	32,619	4.11	7,937
H27（2015）	26,907	3.96	6,795

出典：国勢調査（各年）

図 人口集中地区（D I D）の推移



3 公共交通

(1) 鉄道の運行状況

【幸手駅東西自由通路・西口駅前広場の完成】

- ①市内には、東武日光線が南北に通過しており、幸手駅が立地しています。また、隣接する杉戸町には、杉戸高野台駅が立地しています。
- ②平成31年（2019年）には幸手駅東西自由通路、西口駅前広場が完成しました。
- ③市内の駅は幸手駅のみであるため、市内の大半が鉄道駅の徒歩利用圏（半径500m）外となっていますが、一部が杉戸高野台駅の徒歩利用圏に含まれています。
- ④幸手駅の1日あたりの平均乗車人数は、近年減少傾向にあります。

図 鉄道の運行状況

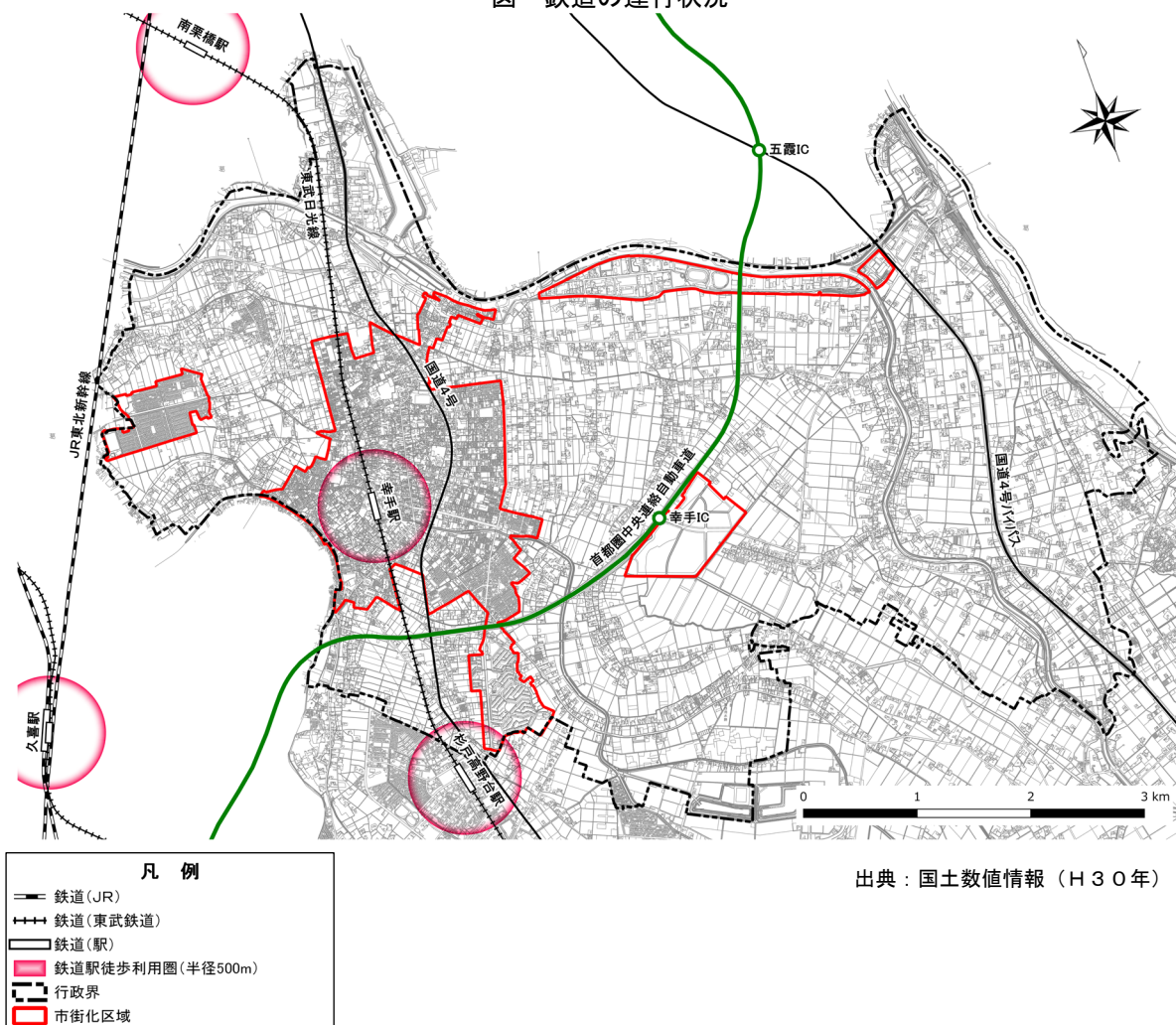


表 幸手駅の乗車人数の状況（1日あたり平均乗車人数）

年度	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)
乗車人数 (人)	7,272	7,219	7,062	7,017	6,870	6,798

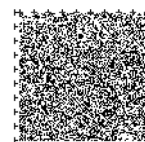
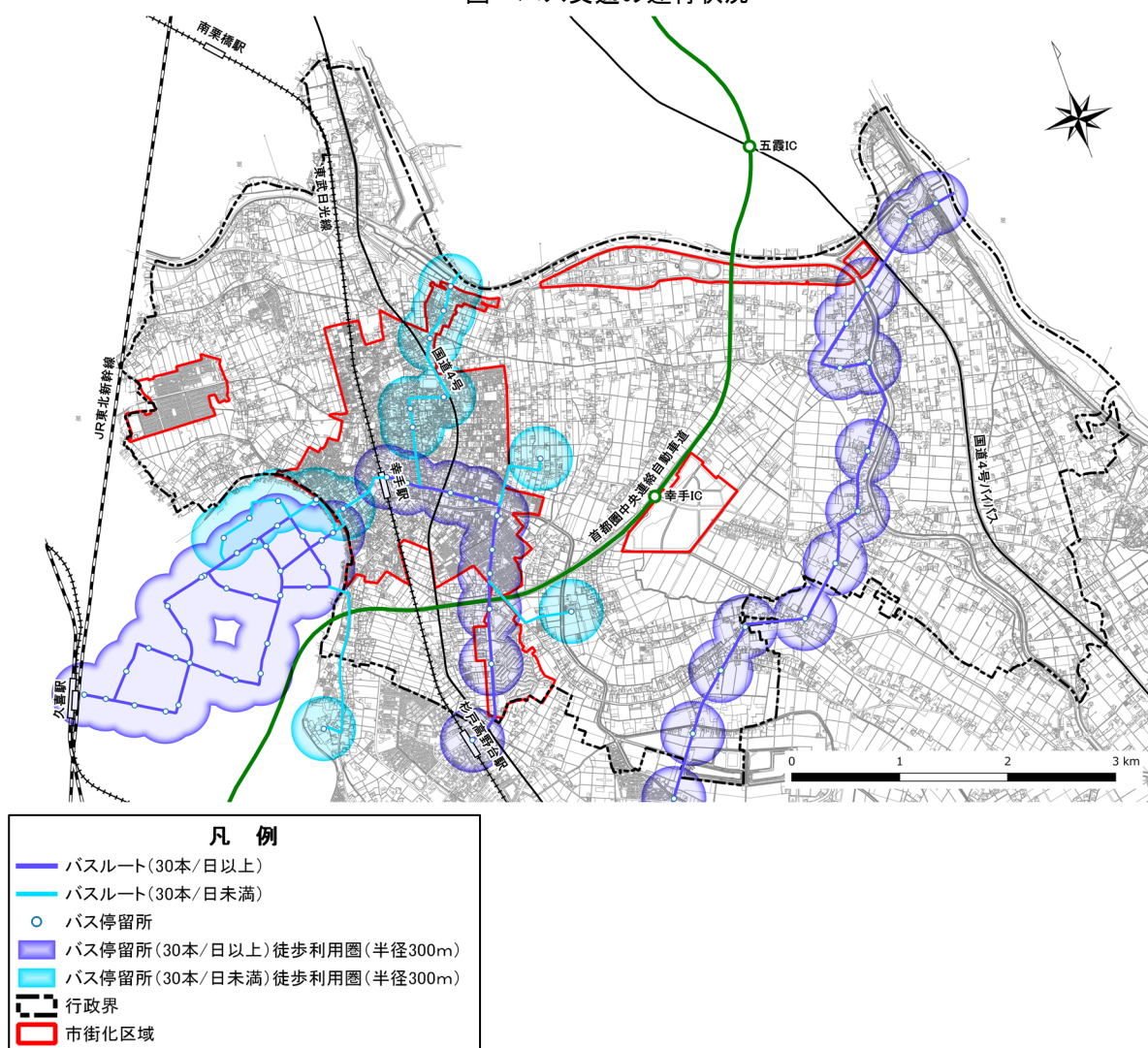
出典：統計さって

(2) バス交通の運行状況

【南北を中心とした路線バス（民間）の運行】

- ①市内には、民間事業者が運行する路線バスが4系統走っています。このうち、3系統は幸手駅を起点とし、近隣の久喜市、杉戸町、茨城県五霞町間を結ぶ路線となっています。
- ②市内に起点はありませんが、市東部には宮代町（東武動物公園駅）と茨城県境町（境車庫）間を結ぶ路線が通っています。
- ③市街化区域でもバスの徒歩利用圏外となる地区が見受けられます。

図 バス交通の運行状況

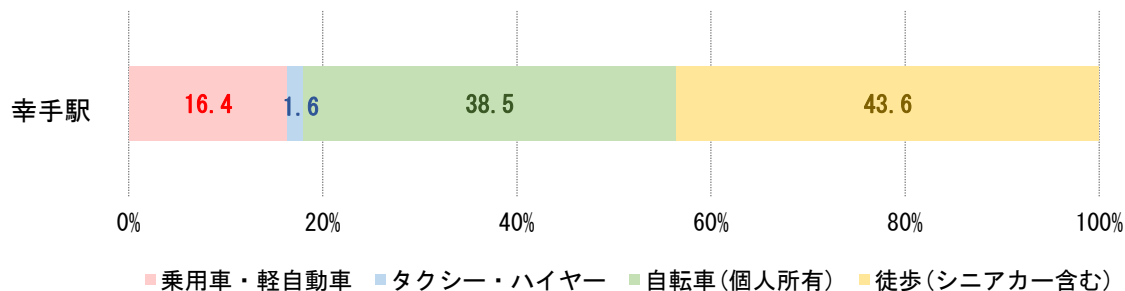


（３）市内の交通手段の状況

【自動車利用の割合が多くを占める市内移動】

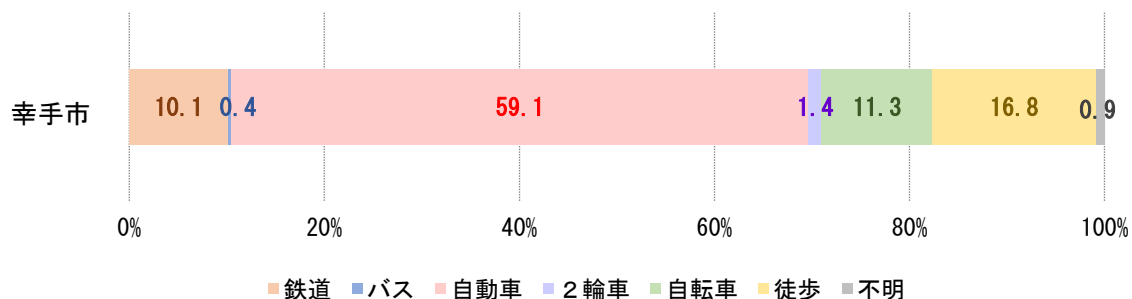
- ①幸手駅に発着する交通手段の割合は、徒歩または自転車の合計が80%を超える状況です。
- ②市内の代表交通手段の割合は、自動車の割合が59.1%であり、次いで徒歩が16.8%、自転車が11.3%となっています。

図 幸手駅端末交通手段の割合

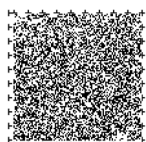


出典：東京都市圏パーソントリップ調査（H30年）

図 代表交通手段の割合



出典：東京都市圏パーソントリップ調査（H30年）



4 都市機能の分布及び徒歩利用圏域の状況

都市機能については、コンパクトシティの形成に向けて、拠点等への立地が望まれる施設の例として、立地適正化計画作成の手引き（国土交通省）に示されている施設を基本に、分布状況を把握します。

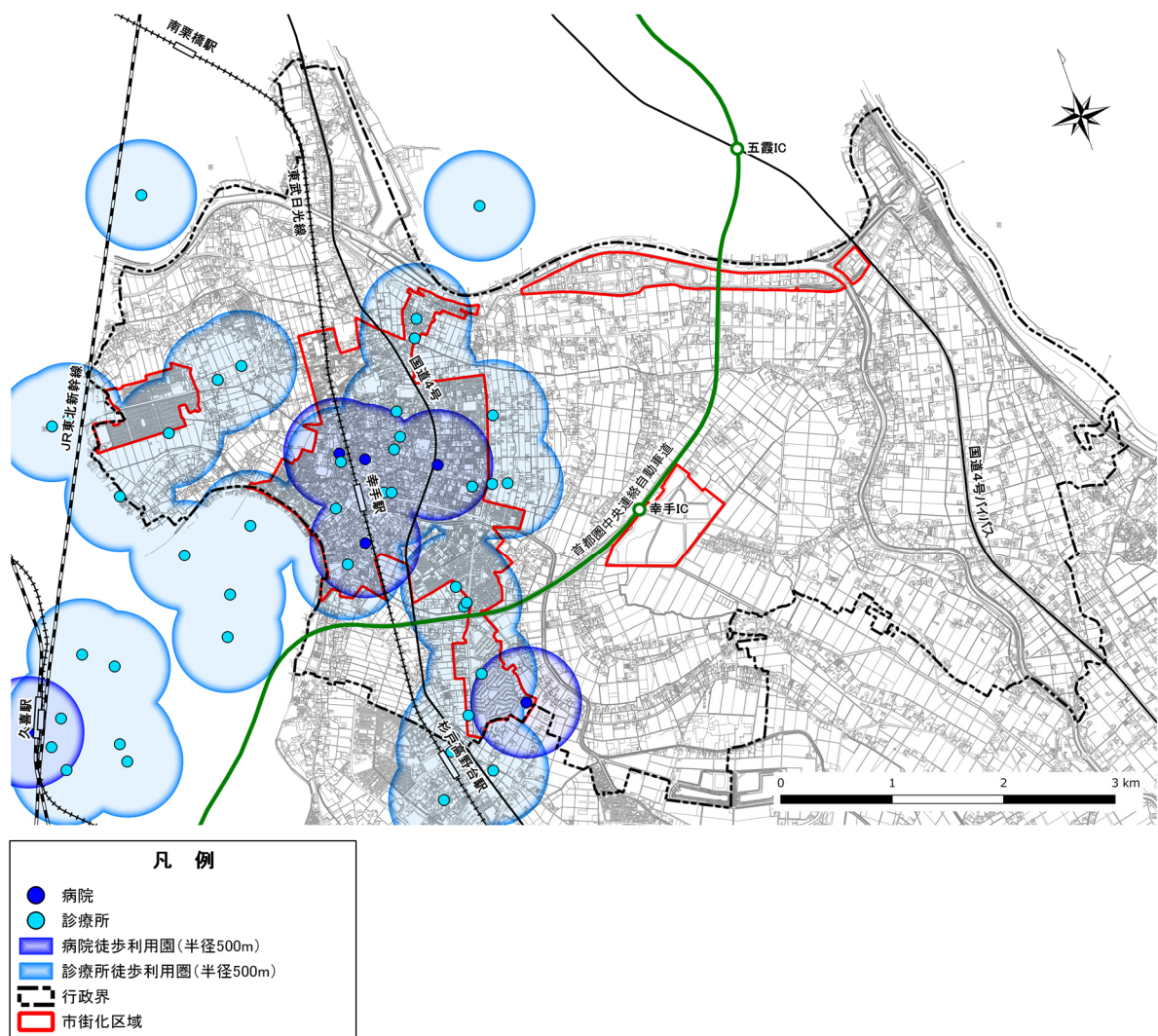
また、各施設の利用しやすいエリアとして、施設から半径500mの円（高齢者の一般的な徒歩圏）を示します。

（1）医療施設

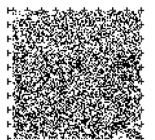
【市街化区域を中心に立地する医療施設】

- ①市内には、内科・外科を有する医療施設として、病院が市街化区域内に3つ、診療所は市街化区域を中心に立地しており、市街化区域（工業団地を除く）の大半が、医療施設の徒歩利用圏内に入っています。
- ②市街化調整区域においては、医療施設の立地があまり見られない状況です。

図 医療施設の分布状況



出典：幸手市内医療機関一覧（病院・診療所）（R1年時点）、国土数値情報（H26年）
※内科・外科のみを対象とする

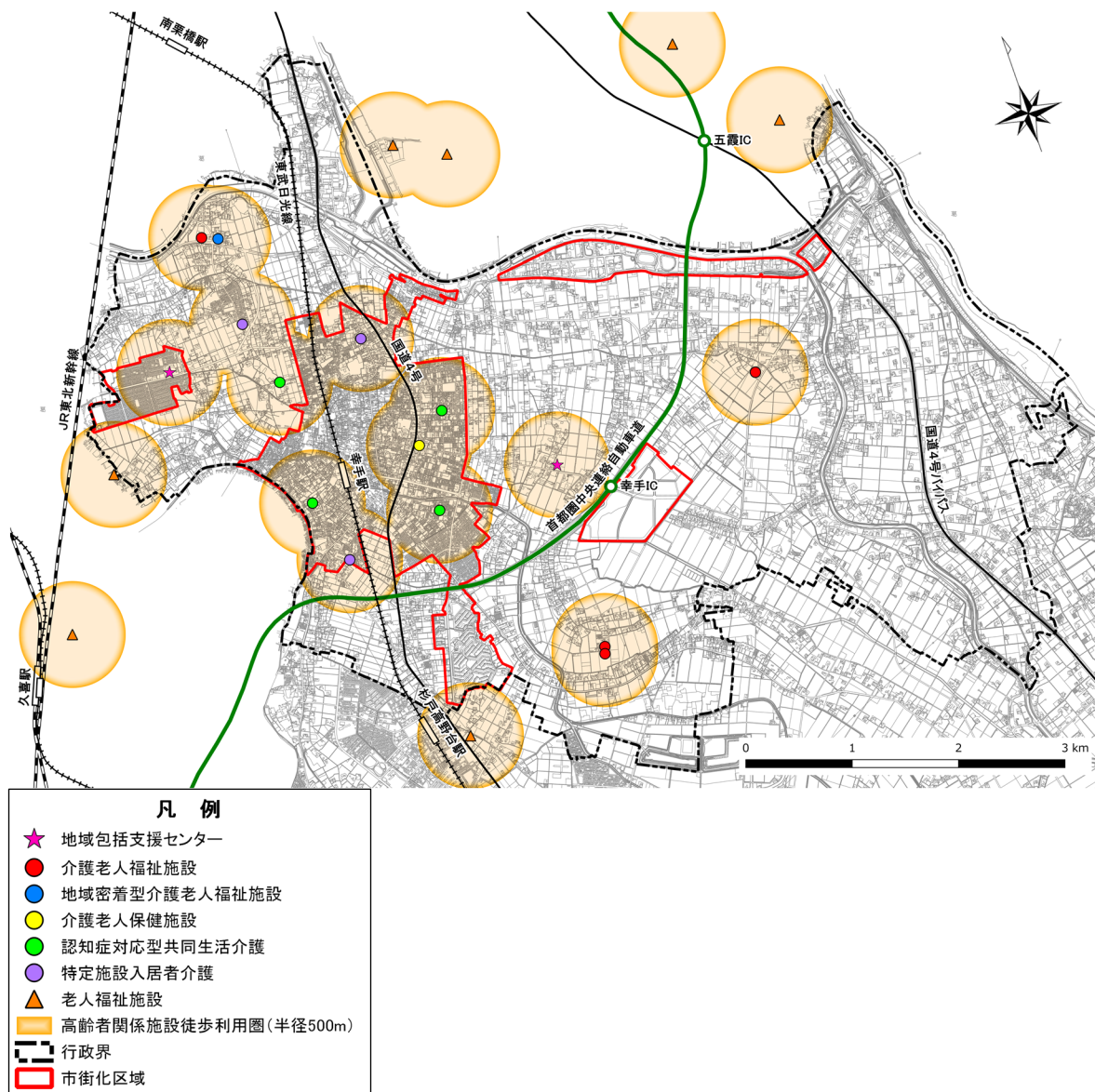


(2) 高齢者関係施設

【市内に分散して立地する高齢者関係施設】

- ①市内には、東西2つの圏域に区分して地域包括支援センターを設置しており、身近な相談窓口としての総合相談支援や、介護が必要となるおそれが高い人への介護予防マネジメント等を一体的に実施しています。
- ②高齢者関係施設は、市内に分散して立地しています。

図 高齢者関係施設の分布状況



出典：幸手市内介護保険施設、居住系サービス提供事業者一覧（H29年時点）、国土数値情報（H27年）

